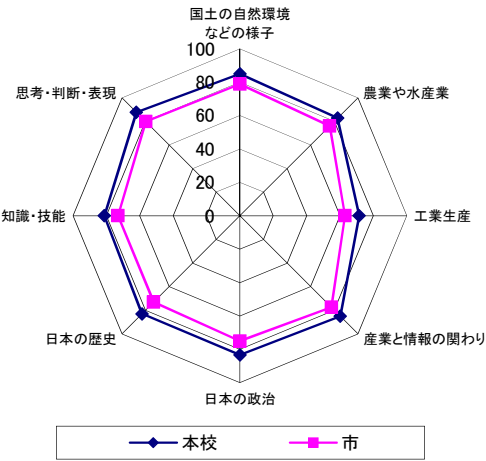


宇都宮市立今泉小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	85.0	78.9	75.4
	農業や水産業	82.7	76.1	71.2
	工業生産	71.5	62.9	59.4
	産業と情報の関わり	85.1	77.6	59.7
	日本の政治	83.4	75.0	79.3
	日本の歴史	83.1	73.1	72.8
観点別	知識・技能	81.2	73.0	71.4
	思考・判断・表現	87.7	79.8	71.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	平均正答率は、市の平均より高い。 ○日本の国土について、「日本の主な地形の名称と位置の理解のもとに、地図を読み取る」設問では、市の平均を8ポイント上回った。 ●中国の国旗と位置については、市の平均を上回っているものの、3.1ポイントとわずかであった。	・世界の国々の国土に着目し、国の位置や国旗について、しっかりと指導していきたい。
農業や水産業	平均正答率は市の平均より高い。 ○日本の農業人口をめぐる課題についての資料を読み取る設問は、市の平均を4.2ポイント上回った。 ●都道府県の位置に理解をもとに、米の生産量についての資料を読み取り、白地図にまとめる設問では、市の平均を上回っていたものの、同領域の他の設問と比べると正答率が10ポイント以上も低かった。	・日本の都道府県の位置や名称についての指導をしっかりと行っていくとともに、各県の名産や特色などについてまとめるなどして、それぞれの県についての理解を深めていきたい。
工業生産	平均正答率は、市の平均より高いが、他の領域より低い。 ○自動車工場の作業過程についての設問では、市の平均を7.9ポイント上回った。 ○日本の鉱山資源の輸入について資料を読み取る設問では、市の平均を13.7ポイント上回った。 ●大工場と中小工場の理解のもとに、資料を読み取る設問では、市の平均を3.9ポイント上回っているものの、正答率は56.7%と低かった。	・日本の工場数や働く人の数、生産額等、資料を基に自ら読み取ったことをまとめるなど、資料を活用して理解を深める活動を取り入れたい。
産業と情報の関わり	平均正答率は、市の平均より高い。 ○情報を受け取る側として気を付けることを、正しく理解している。 ●著作権については、市の平均を上回っているが、やや誤答が見られる。	・著作権について、道徳など各領域での学びを充実させ、情報を正しく活用できるようにしていきたい。
日本の政治	平均正答率は、市の平均より高い。 ○憲法における権利と義務や、人権を守るために三審制が必要であることを正しく理解している。 ●政治で使用される用語について、やや誤答が見られる。	・わたしたちが生活するうえで必要な権利を守るために様々な法律や制度があることに気付かせ、用語と内容を一緒に把握できるよう、意識を高めていきたい。
日本の歴史	平均正答率は、市の平均より高い。 ○日本の歴史に関する様々な設問において、全体的に市の平均正答率を上回り、よく理解できている。 ●飛鳥時代に起きた事項について、年表から答える設問では、市の平均を上回っているものの67.3%であった。	・日本の歴史の学習について、今後も丁寧に指導していくとともに、その時代の主な出来事については、どうしてそのようなことが起きたのかなど、時代の背景や人物の様子などにより、具体的に出来事を捉え考えていくことができるように指導していきたい。併せて、資料をもとに読み取ったことを書くなど、表現する活動を授業で取り入れていきたい。